

平成25年度決算の概要

市民の皆さんが納める税金や国・県からの補助金は、市民生活のためにさまざまな形で使われています。決算は、それらのお金が、皆さんの暮らしやまちづくりにどのように生かされたかをまとめたものです。このたび、徳島市の平成25年度決算がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

【一般会計】

「一般会計」は、福祉・教育など市民生活全般に関わる基本的な事業を行う会計で、徳島市の会計の中心となるものです。

平成25年度の一般会計決算額は、歳入が929億7862万円、歳出が913億1605万円でした（グラフ参照）。翌年度へ繰り越す事業に充てる財源を差し引いた「実質収支」は、4億6775万円の黒字で、前年度の実質収支や財政調整基金への積み立てなどを除いた「実質単年度収支」では、9854万円の黒字となりました。

また、市の貯金である財政調整基金と減債基金残高は、平成25年度末で60億3591万円と、前年度より2億2370万円増加しました。

歳入

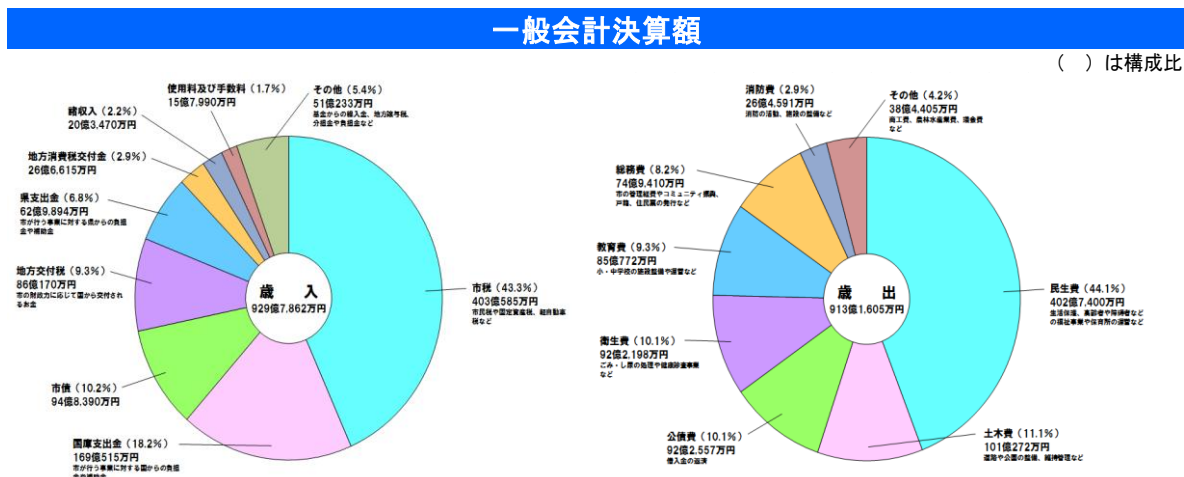
歳入総額は、12億1844万円増加しました。

その主な要因は、地方交付税が6億9361万円減少し、法人市民税の減により市税が2億162万円減少した一方で、臨時財政対策債の増により市債が8億900万円増加し、児童福祉費県補助金の増により県支出金が6億2318万円増加したことなどによるものです。

歳出

歳出総額は、9億6490万円増加しました。

その主な要因は、長期債元金償還金などの減により公債費が6億1269万円減少し、図書館移転拡充事業費などの減により教育費が4億7424万円減少した一方で、街路事業費や公営住宅建設費などの増により、土木費が10億3237万円増加し、私立保育所整備費補助や介護給付費・訓練等給付費などの増により、民生費が9億1852万円増加したことなどによるものです。



【特別会計・企業会計】

一般会計とは別に、保険料など特定の収入を財源として特定の事業を行う場合に経理を明確にするため設置している「特別会計」と、法律に基づいて地方公共団体が経営する水道やバス事業などの「企業会計」があります。

特別会計の決算

特別会計全体の歳入総額は601億2713万円、歳出総額は589億1184万円、歳入歳出差引額は12億1529万円の黒字となりました。これは、国民健康保険事業や介護保険事業などの黒字によるものです。また、食肉センター事業は、平成21年度に策定した経営健全化計画に基づき、経営の健全化に努めたことにより本年度末に累積赤字を解消しました。

企業会計の決算

総収益は157億4408万円、総費用は155億4632万円で差し引き1億9776万円の黒字となりました。

これは、市民病院事業が赤字となりましたが、水道事業で黒字を確保できたことなどによるものです。

表1 一般会計・特別会計決算額

区分		歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計		929億7,862万円	913億1,605万円	16億6,257万円 (11億9,482万円)
特別会計	国民健康保険事業	272億4,735万円	266億5,689万円	5億9,046万円
	食肉センター事業	3億2,427万円	3億2,427万円	
	下水道事業	65億9,772万円	65億3,058万円	6,714万円 (3,716万円)
	奨学事業	2,222万円	1,686万円	536万円
	土地取得事業	10億1,217万円	10億1,217万円	
	住宅新築資金等貸付事業	1,774万円	1,665万円	109万円
	介護保険事業	218億6,609万円	214億2,674万円	4億3,935万円
	後期高齢者医療事業	30億3,958万円	29億2,768万円	1億1,190万円

※注 歳入歳出差引額欄の()は、翌年度へ繰り越す事業に充てる財源

表2 企業会計決算額

区分	総収益	総費用	純利益(△純損失)
中央卸売市場事業	4億6,457万円	4億9,192万円	△2,735万円
商業観光施設事業	2億1,931万円	1億8,599万円	3,332万円
土地造成事業	1,677万円	491万円	1,186万円
水道事業	47億3,956万円	44億2,983万円	3億973万円
旅客自動車運送事業	8億6,841万円	8億7,012万円	△171万円
市民病院事業	94億3,547万円	95億6,356万円	△1億2,809万円